



『ASIAGAP認証取得による米輸出』と



『地域伝統野菜の6次産業化』支援

愛知県信用農業協同組合連合会（JA愛知信連）  
食農法人営業部 農業融資グループ 柴田卓実

- 愛知県の農業、JAグループ、組織概要、機構図、所属部署、支援体制

## 1 組織概要
- 取組み概要、取組みの全体像、支援内容（輸出・6次化）、新聞への掲載

## 2 取組み内容
- 苦勞、工夫した点

## 3 苦勞、工夫した点
- 経営者の発言、農業者に寄り添って、ESG金融の課題、伴走支援

## 4 支援のポイント
- 支援の成果（事業者、当会、環境・地域社会、まとめ）

## 5 支援の成果
- 今後の展望

## 6 今後の展望

- 1 組織概要**  
愛知県の農業、JAグループ、組織概要、機構図、所属部署、支援体制
- 2 取組み内容**  
取組み概要、取組みの全体像、支援内容（輸出・6次化）、新聞への掲載
- 3 苦勞、工夫した点**  
苦勞、工夫した点
- 4 支援のポイント**  
経営者の発言、農業者に寄り添って、ESG金融の課題、伴走支援
- 5 支援の成果**  
支援の成果（事業者、当会、環境・地域社会、まとめ）
- 6 今後の展望**  
今後の展望

# 1-1. 愛知県の農業

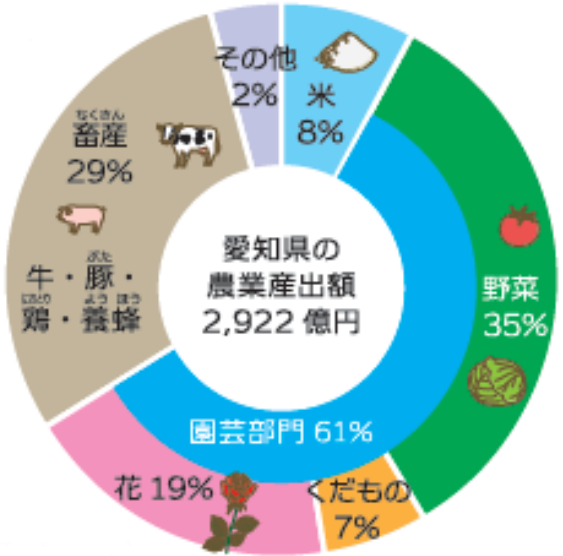
農業**産出額**は全国**8**位



愛知県は全国的に見て、  
農業がさかんな県だっているかな？

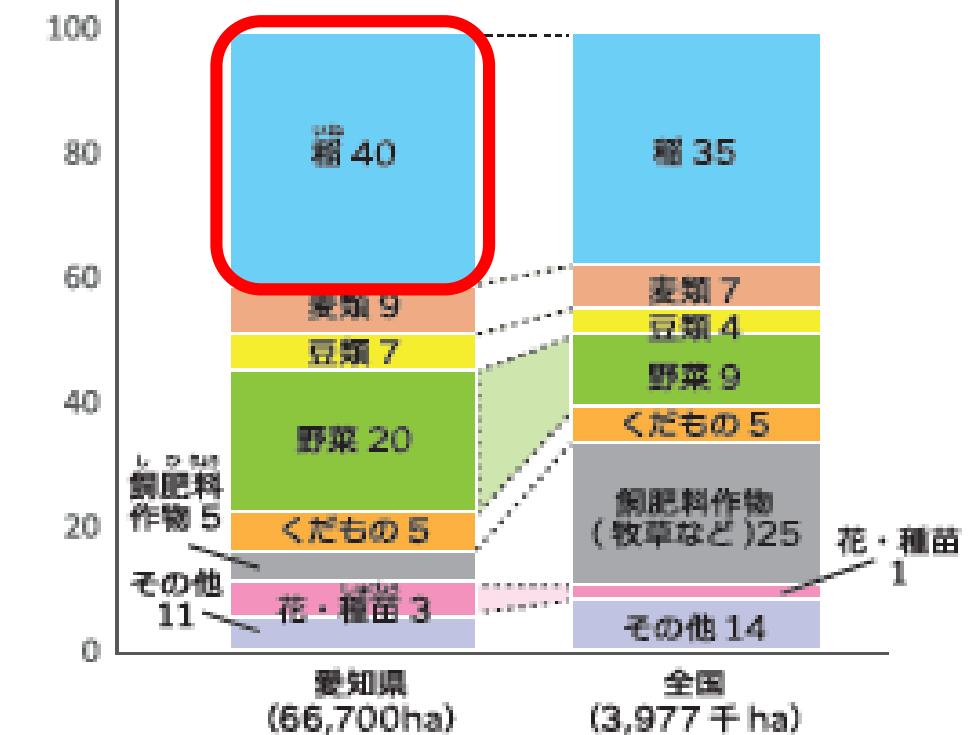
愛知の農業全体の**産出額**は全国**8**位！

愛知県は自動車や機械などの工業で有名な県だけど、  
実は農業もさかんなんだ。農業全体の産出額<sup>※</sup>は  
全国8位(2021年)で2,922億円もあるんだよ。  
※産出額…生産量 × 販売価格



作付け延べ**面積**の**4割**は**稲**

農産物の作付けのべ面積の割合(2021年)  
農林水産省資料による



出典：『愛知の農業2024』 J A 愛知中央会

# 1-2. JAグループ

JAバンク

系統 **3** 段階

市町村

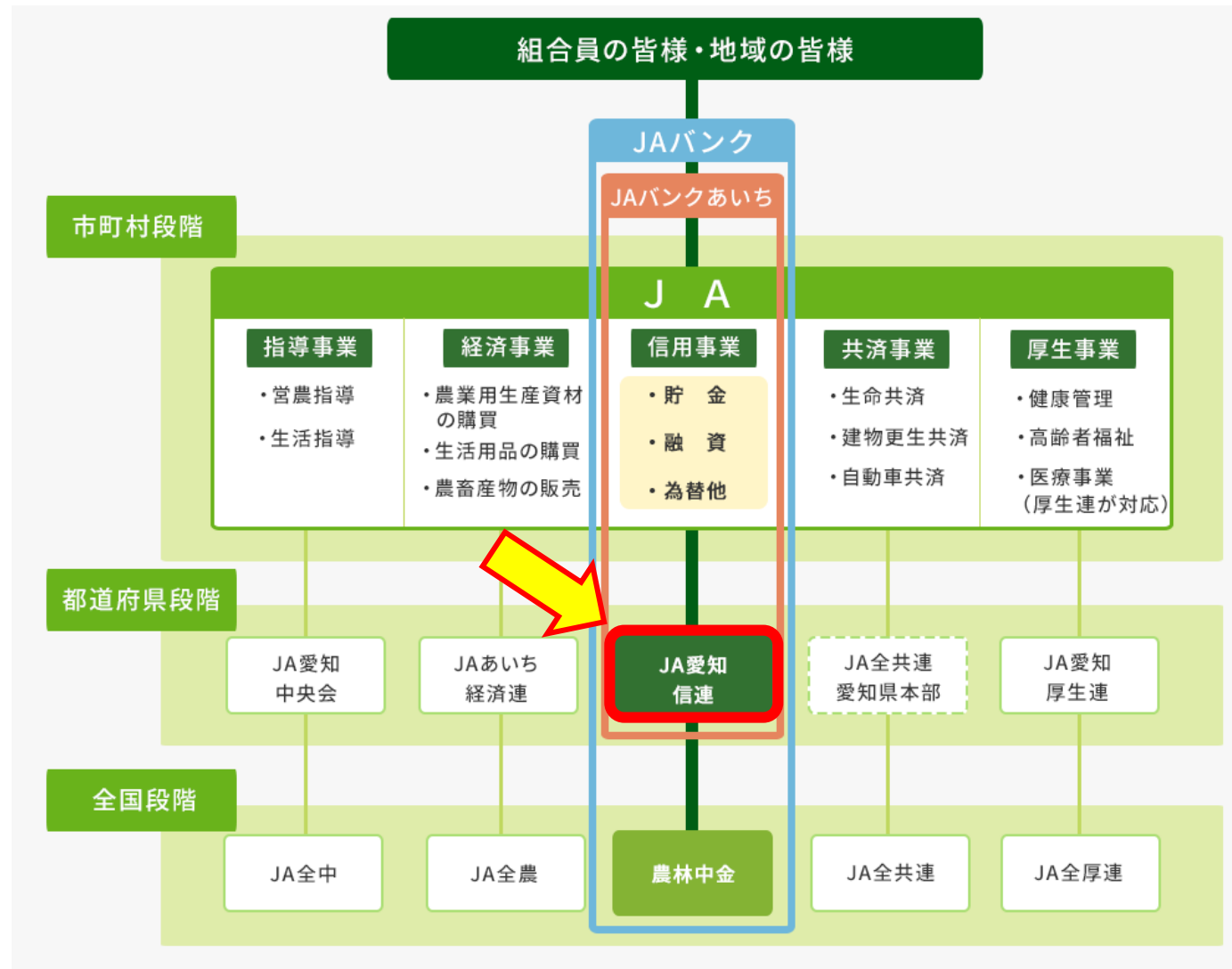
県内 **19** JA

都道府県

**JA 愛知信連**

全国

農林中央金庫



# 1 - 3. 組織概要

## J A 愛知信連のプロフィール (令和6年3月31日現在)

名 称：愛知県信用農業協同組合連合会  
設 立：昭和23年8月  
所 在 地：愛知県名古屋市中区錦三丁目3番8号  
貯 金：7兆7,271億円  
貸 出 金：4,564億円

貯 金：7兆7,271億円  
貸 出 金：4,564億円

役 員 数：経営管理委員13名  
          理事5名  
          監事4名  
職 員 数：336名





# 1 - 5. 所属部署

## 食農法人営業部

**広域**融資  
大企業向け

**地域**融資  
食農関連企業向け

**農業**融資  
農業者向け

## 農業融資グループ

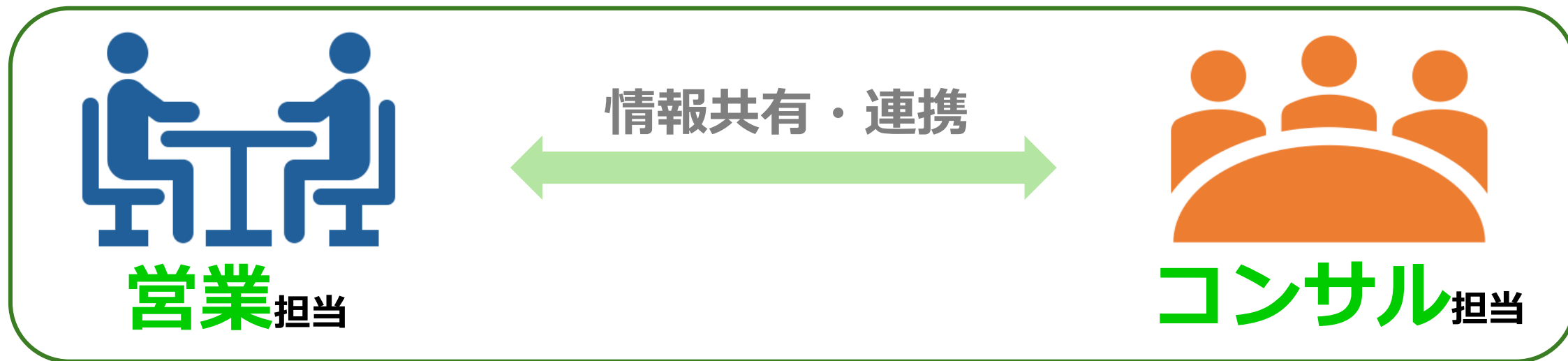
**農業融資**担当

**コンサル**担当





## 農業融資グループの支援体制



連携



JAグループ 外部専門家

- 1 **組織概要**  
愛知県の農業、JAグループ、組織概要、機構図、所属部署、支援体制
- 2 **取組み内容**  
取組み概要、取組みの全体像、支援内容（輸出・6次化）、新聞への掲載
- 3 **苦勞、工夫した点**  
苦勞、工夫した点
- 4 **支援のポイント**  
経営者の発言、農業者に寄り添って、ESG金融の課題、伴走支援
- 5 **支援の成果**  
支援の成果（事業者、当会、環境・地域社会、まとめ）
- 6 **今後の展望**  
今後の展望

# 2-1. 取組み概要

①

**ASIAGAP認証  
の取得**

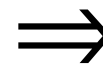


**米の輸出**



②

**地域伝統野菜  
の生産開始**

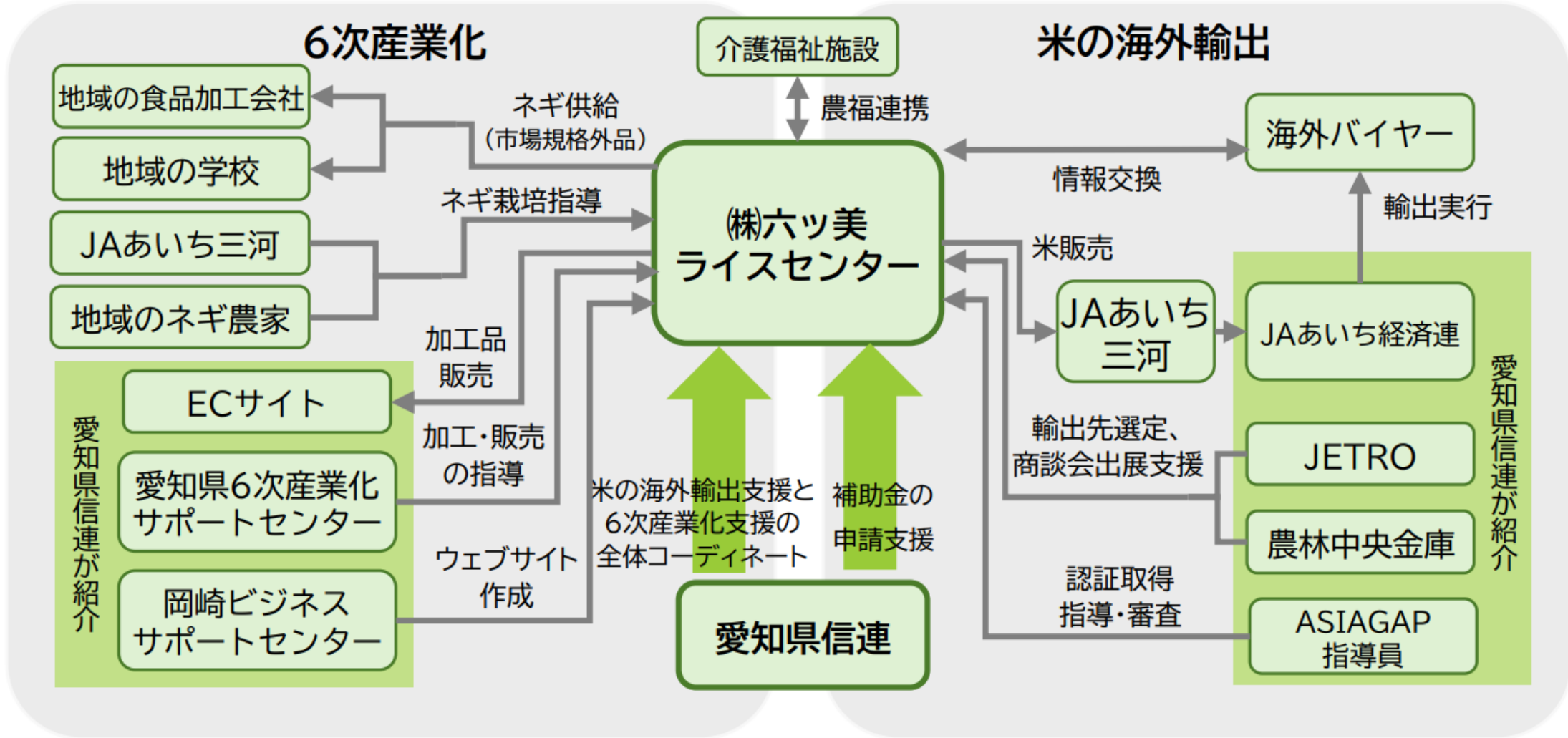


**6次産業化**



# 2-2. 取組みの全体像

## 多くの支援機関との連携による支援



# 米の輸出にかかわる主な支援内容

ASIAGAP



取得計画策定、研修・指導・審査機関の紹介

海外商談会



輸出向け商談会の調査、出展準備、商社調査・紹介

補助金



輸出プロジェクト全体支援、申請書策定

輸出



基礎知識指導、国選定、市場調査、輸出戦略策定  
商談知識・準備指導、各国の規制、ハラール

# 6次化にかかわる主な支援内容

栽培



品目検討、栽培指導、栽培シミュレーション

加工



6次化総合化事業計画策定、加工施設（衛生管理）、  
試作品、労働力分配シミュレーション

販売



販売サイト調査、Webサイト作成、写真撮影方法、  
販売戦略

## 農業新聞への掲載

### 輸出・6次化伴走支援 ノウハウ生かし地域活性化

愛知信連

JA愛知信連は、愛知県岡崎市の六ツ美ライセンサーの米輸出・アジアGAP（農業生産工程管理）の取得、伝統野菜「法性寺ねぎ」の6次産業化を支援した。信連職員が自らASIAGAPの指導員資格を取得するなど伴走支援。同社の支援で得たノウハウを、県内2社のアジアGAP認証取得に役立つ。

農水省は「支援先の事業展開だけでなく、地元のアジア加工業者を巻き込み、地域の活性化につなげる環境・社会・企業統治（ESG）地域金融の好事例」と評価する。

同社は米や小麦、伝統野菜「法性寺ねぎ」などを延べ約126畝で生産する。持続的な経営のために、米輸出と伝統野菜の加工・販売に着目した。過去に融資実績のある同連が支援の手を上げ、2018年から本格的な取り組みを始めた。

同連は、米輸出では海外の販売先の商談会やパイヤーを同社に紹介。アジアGAP認証取得では、指導員や審査員を紹介することも、担当者から指導員資格を取得して取り組み



六ツ美ライセンサーの水田での代かきを確認するJA愛知信連、JAあいち三河の担当者ら（愛知県岡崎市）

を支えた。6次産業化では、売り上げやコストの見積もり、目標設定などで助言。フードコーディネーターを紹介し、製造方法の検討や販路を開拓した。同社は20年にアジア「法性寺ねぎ」の6次産業化では、乾燥ネギなどを開発・販売するなど、学校給食にも提供するようになった。

これらの取り組みを通じて同社が正社員2人を雇い入れるなど、地域に新たな雇用を創出した。消滅が危惧されていた「法性寺ねぎ」の栽培継続にもつなげた。

同連食農法人営業部農業融資グループの柴田卓実次長は「農業者への経営支援を通じ、地域農業の発展に貢献したい」と話す。

同社の高木直樹代表は「信連にはアジアGAP認証取得の講師や、国の助成事業を紹介してもらい助けられた」と強調する。

令和6年8月15日付  
農業新聞

- 愛知県の農業、JAグループ、組織概要、機構図、所属部署、支援体制

## 1 組織概要
- 取組み概要、取組みの全体像、支援内容（輸出・6次化）、新聞への掲載

## 2 取組み内容
- 苦勞、工夫した点

## 3 苦勞、工夫した点
- 経営者の発言、農業者に寄り添って、ESG金融の課題、伴走支援

## 4 支援のポイント
- 支援の成果（事業者、当会、環境・地域社会、まとめ）

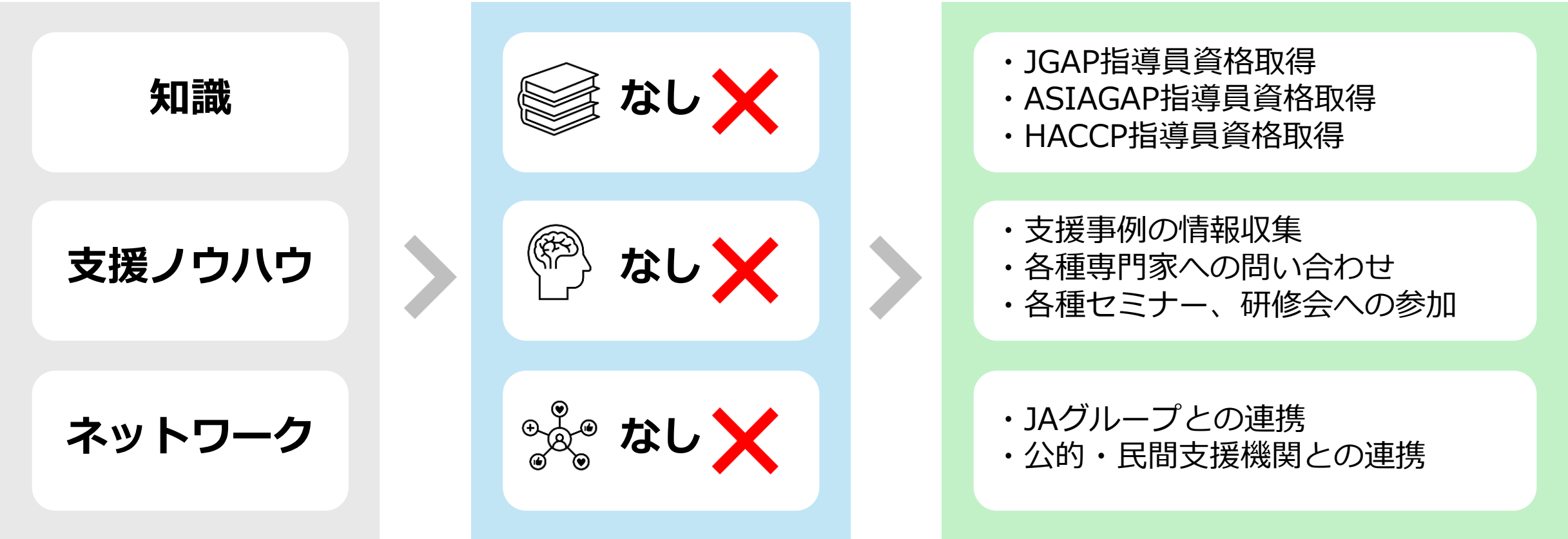
## 5 支援の成果
- 今後の展望

## 6 今後の展望



### 3. 苦勞、工夫した点

コンサルチーム立ち上げ**初年度** **手探り状態**でのスタート！



当会の**理解**、関係機関の**協力**

- 愛知県の農業、JAグループ、組織概要、機構図、所属部署、支援体制

## 1 組織概要
- 取組み概要、取組みの全体像、支援内容（輸出・6次化）、新聞への掲載

## 2 取組み内容
- 苦勞、工夫した点

## 3 苦勞、工夫した点
- 経営者の発言、農業者に寄り添って、ESG金融の課題、伴走支援

## 4 支援のポイント
- 支援の成果（事業者、当会、環境・地域社会、まとめ）

## 5 支援の成果
- 今後の展望

## 6 今後の展望

## 4-1. 支援のポイント（経営者の発言）

経営者の発言の『真意』は？

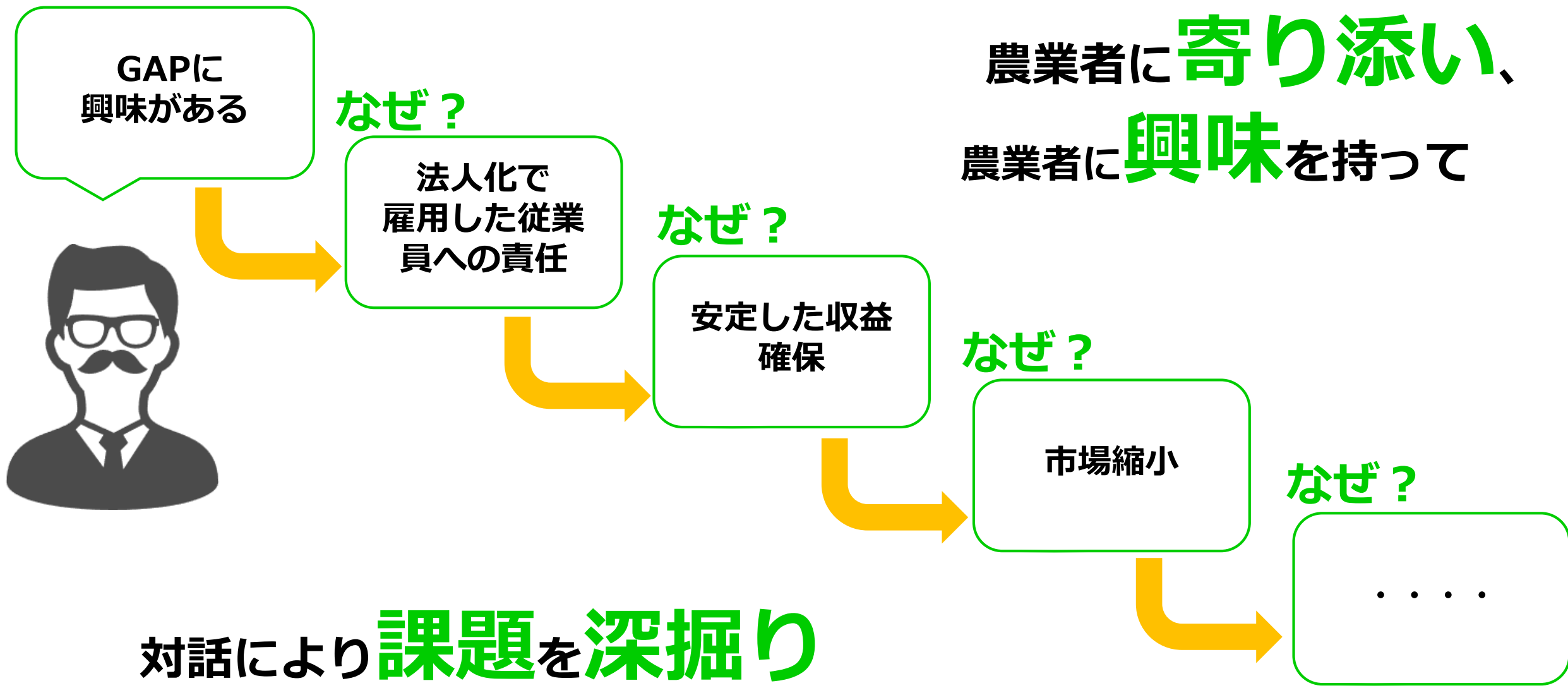
GAPに  
興味がある



調べて  
説明します



# 4-2. 支援のポイント（農業者に寄り添って）



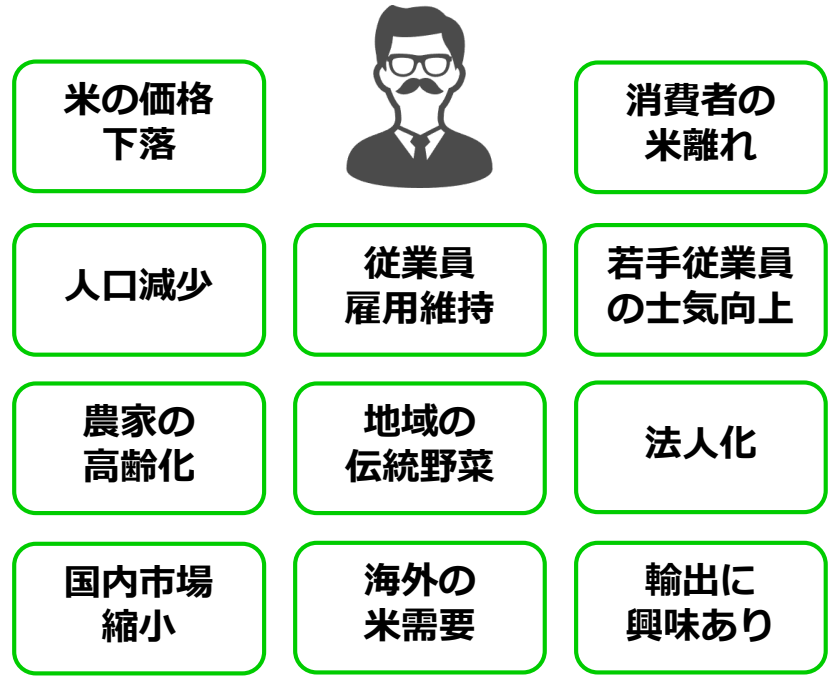
農業者に**寄り添い**、  
農業者に**興味**を持って

対話により**課題**を**深掘り**

# 4-3. 支援のポイント (ESG金融に対する課題)

## 様々な課題を**認識**

## 当会との**共通**な課題



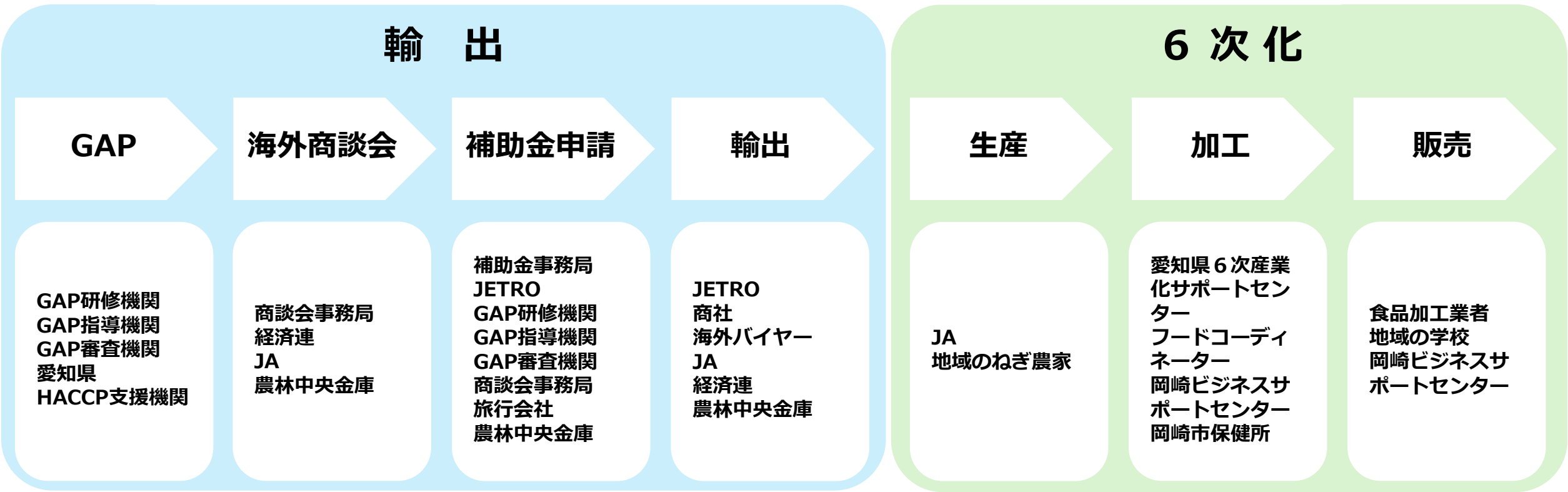
# 重点支援先 として選定 支援を開始

# 4-4. 支援のポイント（伴走支援）

多くの支援機関が、複数のプロセスで**複雑**に関係



**プロジェクト全体**に対する**伴走支援**



- 愛知県の農業、JAグループ、組織概要、機構図、所属部署、支援体制

## 1 組織概要
- 取組み概要、取組みの全体像、支援内容（輸出・6次化）、新聞への掲載

## 2 取組み内容
- 苦勞、工夫した点

## 3 苦勞、工夫した点
- 経営者の発言、農業者に寄り添って、ESG金融の課題、伴走支援

## 4 支援のポイント
- 支援の成果（事業者、当会、環境・地域社会、まとめ）

## 5 支援の成果
- 今後の展望

## 6 今後の展望

# 5-1. 支援の成果（事業者）

## 事業者の成果

### 取組み

ルール構築

新規雇用

輸出実践ノウハウ習得

ASIAGAP指導員資格取得

HACCPノウハウ習得

6次化は従業員で取組み

### 効果

社内体制の  
整備・強化

新たな販路確保

食品取扱ノウハウ  
蓄積・意識向上

従業員の成長機会

### 課題解決

農業経営の  
持続可能な  
体制を構築



## 5-2. 支援の成果（当会）

### 当会の成果

#### 取組み

GAP指導ノウハウ獲得

生産現場管理の高度化

食農バリューチェーン構築

外部専門家との連携

#### 効果

他生産者への展開

農業所得向上の貢献

地域経済の強化

支援体制の強化

#### 課題解決

高度化する  
農業経営課題  
の解決  
**地域農業  
振興への  
貢献**

## 5-3. 支援の成果（環境・地域社会）

### 環境・地域社会への波及効果

#### 取組み

オフシーズンに伝統野菜の生産や6次化に取組み

地域の伝統野菜の栽培を引継ぎ

規格外品の活用

#### 効果

雇用の創出

地域農業縮小抑制  
食育活動にも貢献

地元企業との連携

#### 課題解決

高齢化による  
離農が進む地  
域での  
**農業振興  
雇用創出**

輸出や6次産業化の支援を通じて、  
**ESGにつながる取組み**に

- 1 **組織概要**  
愛知県の農業、JAグループ、組織概要、機構図、所属部署、支援体制
- 2 **取組み内容**  
取組み概要、取組みの全体像、支援内容（輸出・6次化）、新聞への掲載
- 3 **苦勞、工夫した点**  
苦勞、工夫した点
- 4 **支援のポイント**  
経営者の発言、農業者に寄り添って、ESG金融の課題、伴走支援
- 5 **支援の成果**  
支援の成果（事業者、当会、環境・地域社会、まとめ）
- 6 **今後の展望**  
今後の展望

### 経営理念

J A愛知信連はJ Aとともに  
地域農業と地域社会の  
豊かな未来を創造します

農業者との信頼を日々の業務により積み重ねていくとともに、  
今後も農業者への経営支援を通じて  
**持続可能な地域農業**  
地域社会の実現に貢献します。

ご清聴ありがとうございました。

# 参考資料

## 事例2 事業者：(株)六ツ美<sup>むつみ</sup>ライスセンター 金融機関：愛知県信連

### GAP認証取得による米輸出と地域伝統野菜の6次産業化

#### ― 事業者のニーズに沿った多様な連携先を紹介、自らもGAP指導員資格を取得し伴走支援

#### 事業者の概要（株式会社六ツ美ライスセンター）

- 米、麦、大豆、野菜等の生産を行う農業法人。将来的な国内市場の縮小を見据え、**米の海外輸出**を開始。金融機関や外部専門家からの支援のもと、社員教育や社内体制構築を実施し、**国際機関の承認を受けたASIAGAP\*認証を取得**
- 冬季のほ場を有効活用し、**後継者不足が懸念される地域の伝統野菜「法性寺ねぎ」**の栽培を開始。市場販売に加え、学校給食向けの供給や、**自社で加工販売を行う6次産業化**にも取り組んでいる

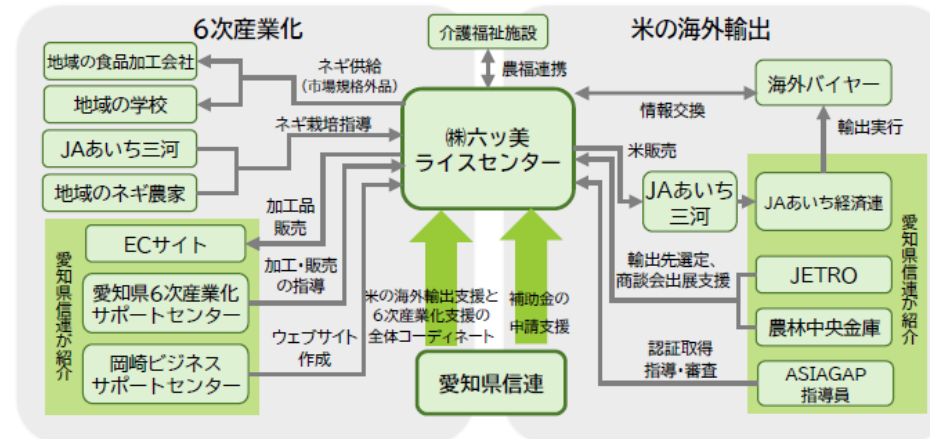
※GAP（Good Agricultural Practice：農業生産工程管理）：農業において、「食品安全」、「環境保全」、「労働安全」等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組。ASIAGAPは、国際的な食品安全管理団体GFSI（Global Food Safety Initiative）が承認したGAPで、HACCPをベースとした考え方が含まれる

#### 持続可能な地域の実現につながるポイント

- （事業者の持続的な成長）
  - 若手従業員が主体的に取り組む新事業を展開し、中長期的に国内農業市場の縮小が懸念される中でも**持続的に農業に従事するための成長機会を提供**
  - ASIAGAP認証取得を通じて食品を取り扱う上での**社内ルールの整備・共有**が進展。地域伝統野菜の栽培と6次産業化で**年間作業を平準化**
- （環境・地域社会への波及効果）
  - 高齢化で離農が進む地域での、米の輸出推進や伝統野菜の栽培継続による**農業振興、雇用創出**

#### 金融機関の対応（愛知県信連）

- 従来から融資取引があった事業者から国内農業市場縮小への対応策に関する相談を受ける中で、ASIAGAP認証取得による米の海外輸出や6次産業化のアイデアの具体化・実現を支援
- 事業者のニーズに沿った多様な外部連携先の紹介、**ASIAGAP指導員資格取得によるプロジェクト全体での伴走支援**を実施





## 事例2 事業者：(株)六ッ美ライスセンター 金融機関：愛知県信連

### 取組の背景

事業者を取り巻く環境

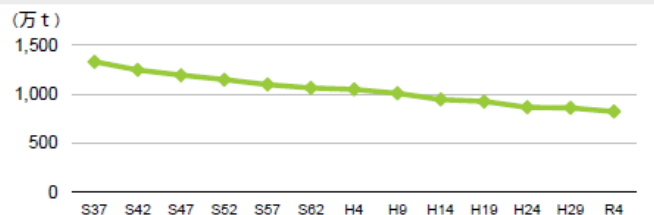
金融機関による支援のきっかけ

#### 国内米市場の縮小

- 人口減少や食の多様化の影響を受けて同社の主要農作物である米の国内需要は減少傾向にあり、今後も減少していくことが予想される
- 同社は、大消費地である名古屋市の近郊に立地していることもあり、現状では需要減少の大きな影響を受けているわけではないものの、米の販売価格は下落傾向にある

国内における米の年間消費量推移

- 日本国内の米の消費量は減少を続けており、昭和37年と令和4年を比較すると、約2/3まで減少している



出所：農水省「食料需給表」

#### 担い手/後継者不足

- 農業従事者の高齢化が進んでおり、近隣の米農家11軒のうち、個人経営の9軒は後継者が不在となっている
- 地域の伝統野菜である法性寺ねぎも後継者がおらず生産が途絶えてしまうことが危惧されている

- ✓ 農業の国内市場が縮小する中で、若い従業員が将来に希望をもち、モチベーション高く働けるようにするために出来ることがないか考えていた。
- ✓ 米の輸出や6次産業化に取り組みたい思いはあったものの、初めから具体的なイメージがあったわけではなかった。
- ✓ そこで愛知県信連に相談したところ、情報提供や関係機関との引き合わせ等の支援を受けるほか、目指すべきゴールに対する方向性や具体的な実施事項を一緒に整理することができた。

六ッ美  
ライスセンター

#### 【金融機関としての農林水産業・食品産業との関わり】


- JAバンクの県段階組織として、愛知県下のJAが食の安全と安心を地域に届けられるよう、各JAと協調して農業者等への金融サービスを提供。

#### 【事業者と金融機関の関係】

- 従来からJAあいち三河及び愛知県信連との融資取引があり、定期的に訪問して意見交換をする関係性を構築。
- 同社の社長が将来を見据えた経営を行い、国内市場の縮小や担い手・後継者不足が危惧される中で少しずつ対策を講じたい、と考える中で、米の海外輸出や6次産業化に関する構想の相談を受け具体的な支援を開始。

## 事例2 事業者：(株)六ッ美ライスセンター 金融機関：愛知県信連

### 地域金融機関による支援内容と体制

金融機関による支援内容	金融機関の支援体制と工夫
<p data-bbox="435 386 1268 434"><b>事業計画の作成</b></p> <ul data-bbox="435 442 1268 635" style="list-style-type: none"> <li>■ 米の海外輸出では補助金獲得に必要な輸出向け商談会の出展計画等を農林中央金庫やJETROと連携して作成</li> <li>■ 6次産業化では、愛知県の総合化事業計画の認定取得のために、売上やコストの見積もりや目標設定について細かくアドバイスを行い、事業計画作成を支援</li> </ul>	<p data-bbox="1279 386 2114 434"><b>農業コンサルティング担当者を配置</b></p> <ul data-bbox="1279 442 2114 721" style="list-style-type: none"> <li>■ 2018年に農業者を支援するためのコンサルティングチームを組成。組織再編などを経て、現在は農業融資グループ内にコンサルティング専門の担当者を2名配置</li> <li>■ 当初はコンサルティングのノウハウがなかったが、農家へのアンケート等を基にした支援ニーズの発掘や連携可能な外部支援機関（自治体等が運営する公的な支援機関）の探索からはじめ、現在は案件の性質に合わせた連携先紹介や、取引先個別の状況を踏まえたソリューション提示が可能となった</li> </ul>
<p data-bbox="435 773 1268 821"><b>外部の事業者・専門家との連携</b></p> <ul data-bbox="435 829 1268 1278" style="list-style-type: none"> <li>■ 米の海外輸出では、ASIAGAP認証取得のための指導員・審査員、海外の販売先の商談会やバイヤーを事業者に紹介</li> <li>■ 法性寺ねぎを活用した6次産業化では、愛知県信連が連携する愛知県6次産業化サポートセンターが、専門家である地域プランナーとしてフードコーディネーターを紹介し、製品の製造方法の検討や販路開拓などを支援</li> <li>■ 法性寺ねぎを活用した同社商品の販売先となるECサイト「食ベチヨク」を事業者を紹介</li> <li>■ 法性寺ねぎを活用した同社の商品を紹介するウェブサイトの内容を充実させたいというニーズがあったため、岡崎ビジネスサポートセンターを紹介。事業者のニーズに合った専門家が派遣され、ウェブサイト作成やSNS用の写真に関するアドバイスを受けた</li> </ul>	<p data-bbox="1279 773 2114 821"><b>ASIAGAP指導員の資格取得</b></p> <ul data-bbox="1279 829 2114 1035" style="list-style-type: none"> <li>■ ASIAGAP認証取得に必要な知識に基づき適切な支援を行うため、愛知県信連の担当者がASIAGAP指導員資格を取得し、プロジェクト全体をサポート</li> <li>■ ASIAGAP指導員からの指導は回数の上限があり、事業者が足りないと感じる部分を補うために愛知県信連の指導員資格を有する職員が対応</li> </ul> <div data-bbox="1350 1071 2089 1306" style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;">  <p>✓ コンサルティングは全くノウハウがない中でのスタートだった。</p> <p>✓ 外部の研修参加等、組織全体で後押ししてもらったおかげで、外部の専門家や団体とのネットワーク構築ができ、今回のような支援に繋がった。</p> </div>

## 事例2 事業者：(株)六ッ美ライスセンター 金融機関：愛知県信連

### 取組の成果①

#### 事業者が得られたメリット

##### ルール構築や人材雇用による社内体制の整備・強化

- ASIAGAP認証取得に向けた社内での取組を通じて、**食品を扱う上でのルール整備・共有を推進**
- 海外での販路拡大のためバイヤーとの情報交換を行い、**輸出する農作物に関する要求事項を学習**
- 米の海外輸出や6次産業化の新たな取組を通じて、今後の事業拡大に必要な人材が明確化。**6次産業化に関連した野菜栽培の知識を有する正規職員2名や、地域住民2名をパートタイム労働者として新規雇用し、社内人材が充実。積極的な取組のPRにより、全国の学生から採用に関する問い合わせがある**

##### 従業員主体の取組推進による成長機会の獲得

- **将来的に全従業員によるASIAGAP指導員の資格取得を目指しており、海外輸出の取組を通じて食品取扱いのノウハウ蓄積と意識向上に寄与**
- 愛知県立農業大学校から依頼を受け、同社従業員が講師となってASIAGAP認証取得の取組に関するセミナーを開催
- 6次産業化の取組では、従業員が加工業者の視点に立ってスーパーやコンビニ等の商品を観察し、商品アイデアを検討。愛知県6次産業化サポートセンターから紹介されたフードコーディネーターの支援を受けながら、**主体的に商品開発から販売まで実施する機会を獲得**

#### 金融機関が得られたメリット

##### 農作物の認証取得支援の他事業者への展開

- 六ッ美ライスセンターへの支援で蓄積したノウハウを活用し、域内でGAP認証取得の支援を推進。**既に2社がASIAGAP認証を取得しており、JGAP認証取得の支援も現在2社に対して継続的に実施。**
- GAP認証取得支援によって生産現場管理が高度化し、JAグループの基盤である農業者の所得向上につながっている。金融機関としても、農業経営の体系的理解が深まるほか、事業者とのより強固なリレーション構築を図れている。

##### バリューチェーンの構築・維持による地域経済の強化

- 同社への継続的な支援を通じて、**米の海外輸出や地域伝統野菜の6次産業化に関する新たなバリューチェーンを構築し、地域外からの資金獲得に貢献。**
- 地域伝統野菜の生産が継続し、**地域内の経済循環を維持。**



愛知県信連

- ✓ GAPの考え方に基づく管理手法の導入は農家にとってもメリットが大きい。
- ✓ 認証取得に至らずとも、労働安全整備、農業管理、生産履歴管理等の部分的な支援を行うケースが増えている。



## 事例2 事業者：(株)六ッ美ライスセンター 金融機関：愛知県信連

### 取組の成果②

#### 環境・地域社会への波及効果

##### 新たな取組推進による雇用創出

- 穀物のオフシーズンでのほ場有効活用や法性寺ねぎの加工品の製造販売を行うことで年間作業を平準化、**余剰人員発生を抑制し安定した雇用創出に貢献**
- 6次産業化に関する新たな取組のため、**正規社員2名を新規雇用**。また、地域住民を対象とした求人を行い、**パートタイム労働者2名を新規雇用**
- **農福連携**の一環として、隣接する介護福祉施設に繁忙期の軽作業を依頼

##### 高齢化に伴う地域の農業縮小の抑制

- 農業従事者の高齢化に伴い消滅が危惧された**地域の伝統野菜である法性寺ねぎ栽培を引継ぎ**、地元の学校給食に提供する等食育活動にも貢献

##### 6次産業化に伴う地元企業との連携

- フードコーディネーターから紹介された**豊田市の食品加工業者と連携**して、規格外の法性寺ねぎを活用したコラボ商品を販売
- 物流網の確保や信頼性の観点から、将来的に自社開発の法性寺ねぎ製品の**パッケージングやデザイン等を地元企業に委託**する方針



㈱六ッ美ライスセンターの水田の様子



地域伝統野菜の法性寺ねぎ